

第3回経済教育学会地域研修会報告

2018年8月26日(日)、群馬県磯部の板垣記念館で第3回経済教育学会地域研修会が開催されました。板垣記念館の第6回板垣記念館緑陰講座を兼ねた共催の研究会でした。

開会：13時 あいさつ 菊川瑛子（板垣與一長女）

シンポジウム 司会：宇佐見義尚（板垣與一記念館館長） 話題提供 30分・質疑応答 10分

13時05分 安中市のまちづくり、理念と実践 茂木 英子（安中市長）

13時45分 現代国際状況の真相を探る 板垣 哲史（国際金融コンサルタント）

14時35分 教育者板垣與一の思い出 早瀬 慶子（板垣與一次女）

14時40分 社会問題解決企業の挑戦 荒川 智（株globe コーポレーション）

15時20分 経済教育の現代的課題 水野 勝之（明治大学商学部教授）

16時00分 総括・閉会 宇佐見義尚

この講座は宇佐見義尚会員が企画・運営して開かれたものです。講師には安中市長の茂木氏も駆けつけてくださり、安中市のまちづくりについてお話しくださいました。1期目に一生懸命新しいことをやったつもりなのに、当たり前のことに過ぎなかった。それは、安中市がもともと相当遅れていたからだということに気付いた。市民の基本的不便を解決するとともに市民ニーズにこたえていきたいとのこと。板垣氏は、我々一般人が抱く、「現在の国際的ななぜ？」という疑問の後ろには、歴史的経緯が潜んでいることをお話されました。荒川氏はソーシャルビジネスの会社を運営なさっていて、群馬県内でのその試みをお話されました。利益は出ているのかという会場からの鋭い質問に対して、黒字ですと答えになっていました。経済教育学会員の水野氏も報告しました。現在の経済教育の課題解決のための工夫について、学会員がどのような努力を行っているかを、かつて行った授業取材の内容を交えて話しました。

最後に、閉会の挨拶の中で宇佐見会員は、この緑陰講座は2年に1回であったが、このように大勢の方々の参加を得ることができるならば、毎年開催したいと話されていました。

（文責：水野勝之）

